

学校だより

たちはな

令和4年8月25日
尼崎市立立花小学校
校長 植木 加代子

心にたくさん種まきした夏から 次のステージへ

2学期が始まり、子どもたちの歓声が久々に校舎内に響き渡りました。この夏休みはコロナ第7波が猛威を奮う中でも動きを止めない生活となり、数年ぶりに帰省や旅行、レジャーに出かけられた家庭も多かったのではないかと思います。一方、感染対策や療養のためにインドア生活をされたご家庭もあるでしょう。心配なのはゲームやネット漬けで生活リズムが乱れている人はいないかということです。今日から新たなスタートです。子どもたちが1学期よりも進化できたと実感できる2学期にしたいと思います。

7月にも書きましたが、夏はいのちや平和について考えさせられる季節でした。大雨や洪水、噴火による被害に遭われた地域もありましたし、川や海での痛ましい事故もありました。ロシアによるウクライナ侵攻は一向に止まず、世界の穀物倉庫と言われるウクライナから小麦等の輸出ができなくなり、ロシアからの石油や天然ガス供給が止まること等で、日本を含め世界中が生活や経済に支障をきたし始めています。戦争のない平和な世界をつくるのは、未来を担う子どもたちです。皆が元気に2学期を迎えられることは何より幸せなことです。

その子どもたちについて、1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」をご存じでしょうか。4つの柱として「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」があります。当然のことと思いがちな「生きる権利」も、意外と身近で守られていないことがあります。ぜひ調べてみてください。特に「参加する権利」には、子どもを良くない情報から守ることも含まれています。私たち大人が皆でスクラムを組んで守ることが必要です。

それらを踏まえ、本校では欠席遅刻連絡や各種アンケート、そしてコロナ感染連絡もGoogle Formで行うようにしています。何より遅刻欠席連絡システムは、救える命を確実に救うための優れた手段ということで大きな意義を感じています。大げさな表現に感じられるかもしれませんが、連絡のない遅刻欠席の児童は、登校途中に事件に巻き込まれている可能性があると考え、早急にチームで動くようにしています。もちろん、連絡忘れ、の空振りもほとんどです。しかし稀にそうでないこともあり、早急に動くことが功を奏した例もありました。保護者の皆様はご多用とは存じますが、朝8時20分までの連絡にご協力をお願いします。私もかつて子育て中、夜中に熱が上がる子を前に、これは明日欠席だとわかっていても夜には連絡手段がなく、朝の限られた連絡時間にうまく電話することが難しく困った経験があります。このシステムなら24時間いつでも落ち着いて状況を打ち込むことができます。心にゆとりが生まれるシステムは、とても有意義な文明の利器ですね。

夏休みの学習ではタブレットをうまく活用できたでしょうか？スタディサプリは個別最適学習として基礎基本を無理なく定着させることに優れています。この他、算数や高学年理科でのデジタル教科書の活用、レゴブロックを活用したSTEAM教育にも順次取り組みます。授業の随所でロイロノートも活用しています。子どもの学習には、「個別最適学習」と、学級の授業で仲間と学ぶ「協働的対話的学習」の両輪があります。ICTを活用するからこそ、顔を見て対話することのすばらしさや、手書きの良さを知ることにもつながります。

さて、学校や教室にいたことが、様々な理由で難しい子どもがいます。どの子どもも大切な一人です。学校として保護者や専門機関と話し合い、よりよい環境を探っています。本校では小児精神専門医と連携しながら特にこの部分に丁寧に取り組んでおり、どの子どもも胸を張って自立できるよう、チームとして情報共有し進んでいます。多様性を認められる人づくり、誹謗や中傷、偏見のない学校や地域を育む教育の場でありたいと思います。

2学期は体育大会や図工展など全校行事が盛りだくさんです。子どもたちがそれぞれの光を放ち、精いっぱい輝くことができるよう取り組んでまいります。ご理解ご協力の程よろしくお願いたします。